

産業の復興策に理解

経済地理学会中部支部の例会は22日、金沢市のしいのき迎賓館で開かれ、支部員ら約20人が地震や豪雨で甚大な被害を受けた能登の産業を復興させるための課題に理解を深めた。

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局の向野陽一郎支局長が「能登半島地震・奥能登豪雨災害を踏まえ

経済地理学会中部支部

た支援と今後の地域振興」と題して講演し、経産省の取り組みを説明した。復旧復興にはスピード感が重要とし、「各市町の復興計画を実現させる支援や交流人口を拡大させる仕組みづくりが必要だ」と強調した。

日本政策投資銀行北陸支店の飯田一之企画調査課長、金大人間社会研究域人文学系の宇根義己准教授も講演した。福井県立大地域経済研究所の松原宏所長があいさつした。